

平成 29 年 1 月 20 日
総合政策局
海外プロジェクト推進課
道路局企画課国際室

石井国土交通大臣のトルコ共和国出張の結果概要

石井国土交通大臣は、1月17日から19日までトルコ共和国に出張し、トルコ共和国のレジェップ・タイップ・エルドアン大統領、ビナリ・ユルドゥルム首相及びアフメット・アルスラン運輸海事通信大臣とインフラ・交通分野における協力関係について会談を実施しました。

レジェップ・タイップ・エルドアン大統領、ビナリ・ユルドゥルム首相及びアフメット・アルスラン運輸海事通信大臣と会談を行い、現在トルコ共和国において入札手続きが進められている中央径間が世界最長となる橋梁建設を含むチャナッカレ海峡大橋プロジェクトのトップセールス等を行いました。

会談等の模様は別紙のとおりです。

【問い合わせ先】

総合政策局 海外プロジェクト推進課 藤井 和久
電話:03-5253-8111 (内線:25807)
直通:03-5253-8315
FAX:03-5253-1562

道路局 企画課 国際室 村田 重雄
電話:03-5253-8111 (内線:37541)
直通:03-5253-8906
FAX:03-5253-1618

1. レジェップ・タイップ・エルドアン大統領との会談

会談においては、我が国企業等によるチャナッカレ海峡大橋プロジェクトの受注に向け、安倍総理からの親書を手交し、トップセールスを行いました。その他、インフラ・交通分野におけるトルコとの協力関係について意見交換を行いました。会談の結果、本プロジェクトには高度な技術力とファイナンス力が必要であることを相互に確認するとともに、エルドアン大統領からは、オスマン・ガージ大橋などのこれまでの日本の協力による成果に満足している、トルコ共和国建国100周年となる2023年までに本プロジェクトを確実に実現できる提案を採用する旨の発言がありました。



レジェップ・タイップ・エルドアン大統領との会談

2. ビナリ・ユルドゥルム首相との会談

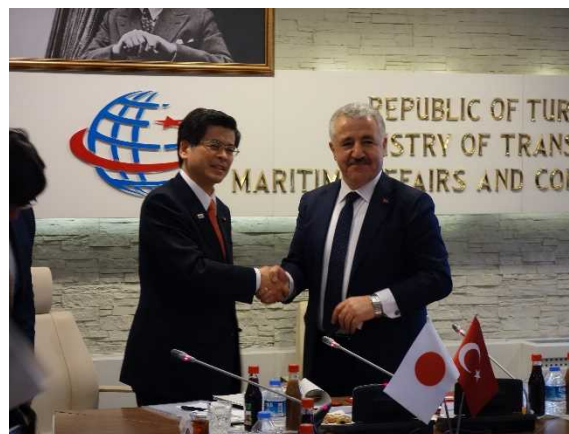
会談においては、我が国企業等によるチャナッカレ海峡大橋プロジェクトの受注に向け、我が国が官民を挙げて最善を尽くしていること、本プロジェクトの実現のためには高度な技術力が必要であることについて説明を行いました。その他、インフラ・交通分野におけるトルコとの協力関係について意見交換を行いました。会談の結果、本プロジェクトには高度な技術力とファイナンス力が必要であることを相互に確認するとともに、ユルドゥルム首相からは、競争力のある提案をして欲しい旨の発言がありました。



ビナリ・ユルドゥルム首相との会談

3. アフメット・アルスラン運輸海事通信大臣との会談

会談においては、我が国企業等によるチャナッカレ海峡大橋プロジェクトの受注に向け、本プロジェクトの実現のために必要な高度な技術及び応札者の事業提案に対する評価の重要性について説明を行いました。会談の結果、応札者の事業提案に対する評価の重要性について相互に確認するとともに、アルスラン運輸海事通信大臣からは、適切に評価を実施する旨の発言がありました。



アフメット・アルスラン運輸海事通信大臣との会談